

市民の思いに寄り添った名古屋城天守閣のあり方

市長提案が否決された2万人アンケート

【江上議員】通告に従い質問します。河村市長に質問します。

2万人アンケートの結果が出ました。その結果について、河村市長は、「約60%を超える市民のみなさんが木造復元を望まれる結果となり」ました、と提案説明で述べられました。

名古屋市としてアンケート結果を明らかにした6月1日には、「誰がどう考えたって東京五輪に間に合えば世界中の人が来る」「全力で努力すればいいが、諸事業で若干遅れるのは市の公共事業でいくらでもある。そんなものまでいかんと言っていない。まずスタートしないといけない」さらに、「市民の名古屋城への愛着を強く感じた。コンクリ補強は明確に否決されましたね」（2016.6.2 中日）とまで発言しています。

アンケート結果で、1「2020年7月までに優秀提案による木造復元を行う」が21.5%。2「2020年7月にとらわれず木造復元を行う」が40.6%。3「現天守閣の耐震改修工事を行う（概ね40年の寿命という注釈つき）」が26.3%と言う結果が出て、市長は、2020年7月までの木造化を前提とした優秀提案によることが「最速かつ最善な方策だ」と、議案を提案しました。

名古屋市がアンケート回答者に送った「お願い」の中では、「2020年7月までに天守閣を木造復元する提案を募集」し、「優秀提案の内容や収支計画などの情報をお知らせし、皆様のご意見をお伺いするもの」と記述しています。2020年7月の木造復元について賛否を聞くものであり、市長提案は、3択のうち最下位であったことが示されたということではありませんか。市長提案に賛成が21.5%対し、期限をつけず木造復元と現天守耐震化は、合わせて66.9%と市長提案に反対の声が3倍を超えています。

市長は、議員報酬引き上げに対し、「市民の声を聞け」と叫びました。あれほど「市民の声を聞け」と言った市長が、天守閣のことになると市民の声を聞かない。

そこで質問します。市長提案が市民から明確に否定された事実をなぜ認めないのですか。民意、民意というなら認めるのが当たり前ではありませんか。答弁を求めます。

今回の補正予算案は民意を踏まえた（市長）

【市長】市民向け報告会に出席の意向があった市民の皆さんおよび、今回の木造復元の課題や竹中案に理解した市民の皆さんに着目して分析しますと、80%の方が木造

だと言っとりまして、その場合は理解されておりますと、竹中案とオリンピックにこだわらないというのが、ほぼ同数、とまではいいませんが、すごく高いですから。そちらの方が民意なんであって、私はよう言っとりますけど、アンケートはアンケートだと。

しかし皆さんは、江上さんが言われましたように、建物の耐震力がまったく不足しとってですね、それは私の責任でもあるし市役所の責任だと思いますよ。もっと早く気付いて行動すべきだと思いますよ。しかし現実として IS 値 0.14 と。熊本城は 0.37 ということで、大変危険な建物であるきちんと理解して〇をつけるかつかないかで全然違うわけです。だから私は何べんも言ってますけど、相当丁寧に説明して、できたら来てもらって、ちゃんと会場に。そういう人たちとやらないと、なかなか本当のことは分かりませんよ。

ちなみに本丸御殿もアンケートやってません。本丸御殿のアンケートは実施されておられません。あれやったらどうなっていたかと。やっぱり文化というものを合意を図るのは大変に難しい問題があって、その中ではものすごい数が、名古屋の自分たちの心のシンボルとして、私もそうですけど小さい時から思っとりました。天守閣を木造化にしたらどれほど名古屋がプライドあるまちになるかなあと、木造にした一にやーとは思っとりました。

一方現天守の耐震改修は 26% にすぎない状況と。これは一般的な方のやつ分析で 26% だと思います。ということは明らかに、名古屋の皆さんの名古屋城、名古屋市に対する実は大変深い郷土愛があるとホントに思いますね。400 年前に建て、大事にしたお城、たまたまと言っちゃなんですが、非常にラッキーだったんだけど図面をつくってしてくれたと、先人が。図面をつくった人はどういう気持ちで作ったと思います？ これは、もしいろんなことがあって、もう一回本物のお城を造って、みんなの自慢にしましよと、尾張名古屋御三家筆頭の魅力あるまちにして、人も集まる、商売やる人も来ると、そういうまちにしましよというのが、私は図面をつくった人の本当の熱い気持ちだったと思いますよ。ということで今回の補正予算案は民意を踏まえた提案でございます。

耐震対策の認識

【江上議員】2 点めに、耐震に関する市長の発言についてです。

市長は、提案理由説明で、名古屋城天守閣は、「IS 値 0.14 と、方針が立っていない市有建築物の中で最も耐震性能が低く、驚くべき状況がございます。」「専門家から入場制限の検討も含めて、一刻も早く対策が必要であり、安全の確保に向けて早急に

対処すべきであるなどご意見を頂戴しているところでございます。」と発言されました。

これを聞いた私は飛び上るほど驚きました。耐震指標 I S 値 0.14 は、5 年前の 2011 年 2 月 28 日付で報告された市の「耐震診断書」にある、天守閣の最上階の数値です。市長は、2009 年市長に就任され、木造復元の考えを示されたことから、市長最初の予算編成である 2010 年度予算で、名古屋城整備課題調査として、木造復元のための法令調査（建築基準法、消防法など）とともに天守閣の耐震対策調査として 800 万円計上され、その結果作成されたのが、この耐震診断書です。その書類には、診断結果について「平成 9 年度に実施した診断結果と類似した結果となっている」とあります。平成 9 年度といえは 1997 年度ですから、名古屋市は 20 年近く前から天守閣の耐震性の不足を承知していたわけです。

また、この文書には補強計画があり、補強すれば、「I S 値は各階とも 0.60 を上回り、十分な耐震性能を確保することができる。」と記述されています。市は、この書類が提出されたのち、2012 年 12 月、「特別史跡名古屋城跡全体整備計画増補版」で「天守の耐震改修整備」を再確認しています。I S 値 0.14 がでて、補強対策を 5 年以上行ってこなかったのは、ほかならぬ市長自身ではありませんか。専門家に聞く前に、自ら胸に手を当てて自戒すべきではありませんか。

そこでお聞きします。市長として、耐震対策を 5 年以上放置しつづけた責任をどう取るのか。はっきりさせてください。

謝るしかないと思う（市長）

【市長】耐震診断のあと、I S 値 0.14 と、ちょっとしばらく前は 0.13 と出とるんですけど、その後どうだったかということについては謝るよりしょうがないと思います。もっと早くすべきだったということで、僕もⅡの 2 というのは知っておりまして、市民集会でもいっとりましたけど、自分で熊本のテレビをみながら、どうなってるかなと再度調べてみて I S 値 0.14 と、これどういう数字かしらんとって大学の先生に直接電話した。そしたら大学の先生が見たこともない数字ですよ。遅かったかもしれませんが自分で何べんも専門家に電話した。そしてこれはとんでもないことだと。いま少なくとも調べた限り、五大都市において、対応がしていない公共建築物のなかでは最低の数値です。横浜なんかも調べましたら、0.26 のあるセンターを、協議をしてから 1 年半後に閉鎖しとります。危ないということで。それを調べまして、これはまあ大変危険だということで。この間は危機の横田局長、観光の渡辺局長、住都の黒田さんに大至急対応を検討するように指示したところですよ。名古屋城における市民の安全

も非常に重要ですけど、お客さんの安全を守るのは私の決定的な責任ですのでしっかり対応していきたい。

税金投入となった場合の責任

【江上議員】3点めに、建設費や維持費を入場料収入で賄い、税金投入はしないという点について質問します。

市長は、税金投入しない、入場料収入で特別会計をつくり行う、と提案しています。昨年度の入場者は174万人です。そのため、完成の2020年から、約50年後の2069年まで、毎年360万人から400万人を超える入場者が見込まれています。今回の提案は、優秀提案の建設費505億円に維持管理費等を含めたものの収支計画です。

以前あった400億円の建設費の計画では、入場料500円、年400万人で20億円、30年で600億円であるから、税金投入はしないというものでした。今回は、20年間延びて、約50年360万人から400万人入場するというのです。建物は変わらないのに、建設費などの変更で、入場者見積もりも計画年数も変わってきています。建設費高騰の可能性は熊本地震以後さらに増えています。

また、建物の構造から見ても、こんなにたくさんのお客さんが入場することは不可能ではないでしょうか。建築基準法、消防法が適用外ということで建設することはできません。しかし利用としては、より一層慎重なことが求められる。安全性は不安だということでもあります。姫路城は、1日15000人の入場制限を行っています。入場制限を行えば当然入場者は限度があります。

そこで、質問します。計画入場者に達せず、税金投入となったらだれが責任を取るのでしょうか。また、約50年後に収支を合わせるだけのことから、経過的に税金投入することになりませんか。福祉予算の削減につながることを市民が承知するわけがありません。市長は、「稼げる街」を目指し、福祉にもお金が回ると言いますが、税金投入となった場合どう責任をとるのか市長、お答えください。

みんなで頭を下げればお客さんは増える（市長）

【市長】商売やるときに失敗したらどうするというのはいいですけど、じゃあ社会主義が失敗したときに誰が責任をとったんすか、いったい。まあそれは関係ないことかもしれないませんが、要するに300万人、熱田神宮が670万人です。初詣220万。引くと400万人。いまやUSJは1350万人。それは投資をしまして、高いですよ、入るのは。それと土地が値打ちがあるとは申しませんが、名古屋城のもっとる世界でただ一つの寸分たがわぬ復興ができた巨大構造物、世界三大復興の一つといわれる

と思いますよ。ポーランドのワルシャワ 旧市街、ドイツのドレスデンの聖母教会の復興。世界遺産になつとる。いまんとこ僕がしらべたところ実測図はないんですね。その魅力はものすごいものがある。名古屋はこれで世界に発信して、ようけ人が来てくれる。商売やるひとでもそんな素晴らしい文化財があるところなら事務所をつくるということになります。そうやって力をつけて福祉にもたくさんお金がいくように、そんなまちづくりがしたいということです。

それから大阪におきましては、もともと天守閣は運営は指定管理者だったんですが、もうちょっと大きい仕組みにしたら、観客が 1.5 倍になってます。それだけで。運営がそういう民営化といってもいいんですけどそういう手法になって、現にやる人たちがいらっしやいませと、みんなで頭を下げる体制になればお客さんはすごい勢いで増えていきます。そういうもんです。私も零細企業やってますけど、それは自由主義経済はそういうものであって、初めからお客さんが来ないなんて。名古屋市長がそんな弱弱しい気持ちでどうするんですか。それよりもしなかったときに名古屋の魅力が落ちたときに、名古屋の経済力が落ちていく、そちらの危険性をよう考えたらどうですか。そのときに責任とってくれるんですか。そちらの方が大きいですよ。

市民の理解も得ないで現天守閣を解体するのか

【江上議員】4 点めです。今回の議案は、2020 年 7 月までの木造化のために、10 月文化庁に許可を申請するため、現天守閣解体の設計や、木造復元の基本設計費が含まれています。木造復元の基本設計を 3 か月で行い、その後実施設計を来年 10 月までに行う予定となっています。

ところが来年 6 月には解体計画に入る。今年 11 月には、現天守閣への入場をストップする。来年 6 月に壊すというのです。木造復元の詳細な設計もできていないのに、先に現天守閣を壊すというのです。

現天守閣は、71 年前の戦争で焼失し、戦後復興、平和の象徴、もう 2 度と燃えないと言う市民の思い、総事業費 6 億円のうち当初 1 億円の寄付の目標が 2 億円も集まった、小学生の時お年玉を寄付した覚えがあるという市民もいる、市民の思いがこもった建物です。それを、次の計画もはっきりしない前に壊してしまう。ましてや、熊本地震でお城も大きな被害を受けたとき、名古屋城天守閣をわざわざ人の力で壊してしまう。こんな市民の思いを無視したやり方があるのでしょうか。

そこで質問します。私は、現天守耐震化を求めています。木造復元を望んでいる人であっても、少なくとも、木造復元の実施設計を行ってから現天守閣を解体するのが順序と思われるでしょう。市民が納得する前に解体することはあってはなりません。

民意、民意と言われる市長の対応をお聞きします。

耐震性能ある建造物に早くしなきやいかん（市長）

【市長】大変な状況になつとります。そのままにしておくことはあり得ない。専門家の方々から聞いとります。市営住宅なんかも対策を早くするよう勧めています。そればかりでなく、お客さんを大事にするのは当然のことであって、外国人のかたもたくさん見えています。170万人。それがこんな危ない建物に当然のように入ってもらうのはいかんと思います。他で耐震のいろんなことはやってるでしょ。だから名古屋城だけ、ほかっといていいという論理はありえない。入場制限は結果のことですけど、耐震対策は耐震性能を完備した建造物に早くしなきやいかんという状況でございます。そのためには竹中による提案によることが一番いいと思つとります。

市長提案は否定されたと認めるべき（再質問）

【江上議員】質問にまともに答えていません。質問者に失礼であるとともに、市民の疑問に答えない、市民にまったく失礼じゃありませんか。

そのうえで申し上げます。市民はどう言っているのか。「6割が木造化に賛成なんて屁理屈だ」「耐震改修こそ待ったなし」。こういう声も聞いております。いろいろ声がありますから、また後ほどお届けしますけれども、私はまず、アンケート表記の問題をお聞きします。

アンケートでは、「現行天守閣を耐震改修した場合でもコンクリートが概ね40年の寿命という調査結果が出ています。」と、こう記述しています。こんな記述があったら、40年しか持たないなら初めから木造化でいいのでは、と思うのが普通です。しかし、それでも、26.3%が耐震化に○を打たれました。問題は、この言い方です。

耐震化については5年前調査をしたことは先ほど触れました。震度6強に補強するには、約29億円かかることも明記しています。しかし、それだけでは天守閣を長寿命化できません。コンクリート劣化の問題があります。これも耐震調査と同時期に行っていました。耐震化とコンクリート劣化は別物です。「構造体劣化調査」として2010年9月に報告されています。この調査で、コンクリートの傷み具合と中の鉄筋のさび具合などから、名古屋市として、「名古屋市構造体劣化調査作業要領」によって、2010年9月段階で、「残存耐用年数」は、40年程度という結果を出しました。結果が出たわけですから、どんな改修方法で、そのための改修費がいくらかかるか、調査をして長寿命化するのが順序です。

ところが、「木造化」の話が出てきた。これ市長が出したのです。それ以上の調査は

していません。ですから何もしなければ「40年」という数字だけ出しました。市民にアンケートを行うなら、「このような方法で行えばこれぐらいの費用で、このぐらいの年数が持ちます。」という表記をするのが当たり前じゃありませんか。例えば、名古屋市役所の本庁舎。1933年、今から80年以上前に竣工しました。耐震化とコンクリート劣化の調査の上で、46億円かけて改修し、今や、重要文化財として名古屋の自慢となっています。だれが、あと何年しか持たない、と言うのでしょうか。

そこで質問します。そのような不適切な40年という注釈をつけても耐震改修のほうが、2020年7月までの木造復元より賛成が多かったのです。市長の提案は、完全に否定されたと認めるべきではありませんか。一言でお答えください。

否定されていない（市長）

【市長】一言なら、否定されておられません。

5年前に「耐震診断書」が出たはず

【江上議員】次にI S値0.14の問題についてお聞きします。

市長は、耐震診断のⅡの2は知っていたが、耐震指標I S値0.14は知らなかったと言うのですか。調査した経過を見ると、2010年度になって、市長が最初の当初予算を作った時です。木造復元のための調査と、耐震のための調査を行ったわけですから、木造化を進めようとする市長としては、その結果は重大なものです。結果がどうであったかつぶさに見るのは当然でしょう。

ところが今の発言から、木造化は考えても、耐震化については調査結果も見えていない、ということが明らかになったと思います。そして、見ていなかったことを反省するどころか、「だから、木造化を急げ」というのは、あまりに身勝手です。

そこで質問します。市長は5年前に、I S値0.14と書かれた「耐震診断書」を読んでいたのですか。これも端的にお答えください。

見たが記憶していなかった（市長）

【市長】Ⅱの2のことは知っとりましたが、0.14というのは、見たことは見たと思いますが、数字はキチッと記憶しとらんということです。なかなか覚えられんもんだから。そうとう低いなという印象でおったということです。

市民の思いがこもった現天守閣

【江上議員】0.14という数字、今になると見たかもしれないな、と。こんな、いい加

減なことでもいいんですかね。Ⅱの2のことばかり強調されて、自分には木造復元しかないもんだから、耐震化に関する書類は見なかった。こういうことが実態じゃないでしょうか。

私は名古屋生まれ、名古屋育ちです。名古屋城天守閣は遠くから見てあればいいと思ってきました。外観は、木造化になってもほとんど変わりません。それほど、現天守の建築技術は素晴らしいものです。郷土愛があるからこそ、たくさんの寄付で建設されたのです。その市民の思いのこもった建物をあわててこわす計画とは何事ですか。

そこでお聞きします。文化庁の意向ではなく、名古屋市民の思いに沿って行動することが市長の仕事ではありませんか。解体について、あなたは、文化庁の意向では実施設計はやらなくていい、と言っているから解体を先に進めるんだ、というようなことを言われたと思います。市長の仕事として、市民の思いに沿って行動することが一番だと私は考えますが、市長として答弁を求めます。

木造天守を望む人が圧倒的に多い（市長）

【市長】私は名古屋の皆さんの思いに沿ってやっとりまします。僕の知るところでは、はよう木造天守やってちょという人が圧倒的に多い。現天守をコンクリートで補強してくれという人はいないとは言いませんが、ほとんどありません。名古屋の人は。

天守閣木造化より名古屋城全体の整備を先に（意見）

【江上議員】先ほど商売でどうたら、ということ言われました。商売は利潤追求です。名古屋市の仕事は、住民福祉の増進です。目的が違います。

社会主義ということも言われた。ソ連のことを言ってみるんでしょう。私たちが言う共産主義・社会主義は、「共に産み出す」と書くように、働く者が主人公になる、こういう時代を目指している、そういうことだけ言っておきます。そして市長は、ことが困ると「社会主義」と言って、ごまかすだけ。中身は何もない、ということも言っておきます。

私は「魅力ある名古屋城」と言うなら、名古屋城全体をもっと整備することだと思っています。北東隅櫓の再現、多門櫓の復元、市長の言う「伝統工法の職人技術の継承」も十分可能です。あわてて建てたところで、市民の声を無視した建物は、愛着がわきません。市民の思いは、じっくり議論して決めることではないでしょうか。市長はこの点をふまえて行動する必要があります。

最後に、あわてて木造化するのではなく、まず現天守閣の耐震化とコンクリートの劣化補強を行い、石垣の整備、庭園の整備、櫓整備を含め、名古屋城全体の整備を進

めるべきです。市長の提案は、市民に明確に否定されました。であるなら、今回の議案は撤回しかありません。議案の撤回を求めて質問を終わります。

以上